

航空・空港の利用促進活動月次報告（令和7年5月）

各空港の取組報告

【県営名古屋空港】 1

- ① 件 名：あいち航空ミュージアムイベント
2025 年度 GW イベント（航空教室&ラジオ工作教室）
- ② 地域振興等類型：（2）航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大
- ③ 実施主体：あいち航空ミュージアム
- ④ 実施時期：2025 年 5 月 3 日（土・祝）、2025 年 5 月 4 日（日・祝）
- ⑤ 取組内容：

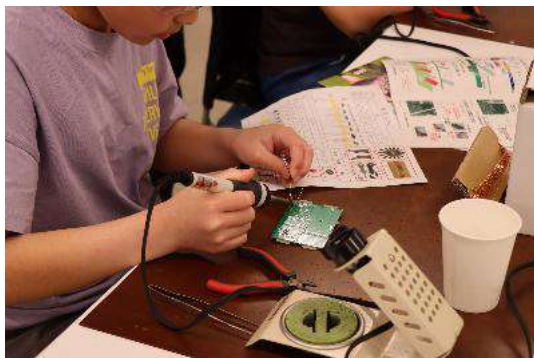
一般財団法人航空交通管制協会と日本無線株式会社の協力のもと、「航空教室」と「ラジオ工作教室」を開催しました。

航空教室では、航空機の運航管理への理解を深めてもらうため、クイズを交えた航空管制業務の解説や、航空管制シミュレーションを行いました。これにより、航空業界に興味を持つ子どもたちにとって、実践的な学びの場となりました。

またラジオ工作教室では、小学4年生から中学生を対象に、エナメル線を巻き、部品をはんだ付けしながらラジオを組み立てる工程を体験してもらいました。集中力と創造力を必要とする作業に没頭し、完成したラジオから音が流れる瞬間、子どもたちは達成感に満ちた笑顔を見せました。

これらの教育プログラムは、航空管制や電子機器の基礎知識を学ぶ機会を提供するとともに、子どもたちの創造力を育む場として重要な役割を果たし、また、未来の航空業界や技術分野を担う若い世代の興味を引き出し、学びの楽しさを実感させる有意義な取り組みとなりました。





【広島空港】 1

- ① 件 名：「米結」期間限定イベントショップ
- ② 地域振興等類型：(4)空港と地域との交流促進
- ③ 実施主体：広島国際空港株式会社
- ④ 実施時期：5月2日(金)～5月7日(水)
- ⑤ 取組内容：広島県世羅町の自社農園で育てた「じんでん米」の玄米粉を使ったグルテンフリーのお菓子「米結(こめゆい)」を期間限定販売。※好評につき3回目の開催



【米子空港】 1

- ① 件 名：米子台北便 就航記念セレモニー
- ② 地域振興等類型：(2)航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大
- ③ 実施主体：鳥取県
- ④ 実施時期：令和7年5月29日
- ⑤ 取組内容：横断幕による歓迎、鬼太郎による歓迎、到着客への観光パンフレット及び記念品の配布等



【岩国錦帯橋空港】 1

- ① 件 名：こどもの日イベント開催
- ② 地域振興等類型：(4)空港と地域との交流促進
- ③ 実施主体：ANA 岩国空港所
- ④ 実施時期：5月5日
- ⑤ 取組内容：ご搭乗のお客様へ鯉のぼり折り紙つきのあめを配布。



【福岡空港】 1

- ① 件 名：エアロ K 福岡＝清州 新規就航イベント
- ② 地域振興等類型：(2)航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大
- ③ 実施主体：エアロ K
- ④ 実施時期：2025 年 5 月 2 日（金）
- ⑤ 取組内容：エアロ K が、福岡＝清州線を新規就航。到着ロビーでの記念イベントや、ウォーターサルートでの歓迎演出等を実施した。



【福岡空港】 2

- ① 件 名：アジアマーケットフェスタ 2025 in Fukuoka
- ② 地域振興等類型：(2)航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大
- ③ 実施主体：アジアマーケットフェスタ実行委員会（株式会社サエキジャパン）
- ④ 実施時期：2025 年 5 月 27 日（火）～6 月 1 日（日）
- ⑤ 取組内容：5 月 27 日（火）～6 月 1 日（日）、天神中央公園貴賓館前広場で開催されたアジアの食や文化を楽しめるイベント「アジアマーケットフェスタ 2025 in FUKUOKA」に協賛。旅行会社と連携してブースを出展し、福岡空港発海外旅行の需要喚起を図った。食を目的に来られた方や、通りすがりの方など、旅行特化型のイベントには来場しない層にも幅広くアプローチすることができた。



【福岡空港】 3

- ① 件 名：TEAM FUK クリーンアップ活動
- ② 地域振興等類型：(4)空港と地域との交流促進
- ③ 実施主体：TEAM FUK CS 推進協議会
- ④ 実施時期：2025 年 5 月 19 日（月）、5 月 23 日（金）
- ⑤ 取組内容：

<目 的>

地域貢献、TEAM FUK 一体感の醸成、TEAM FUK の認知度向上、スタッフのクレンリネス意識の向上、TEAM FUK メンバーの交流機会の創出と一体感を醸成し ES 向上につなげるため

<内 容>

国内線ターミナル南側・国際線ターミナル周辺のゴミ・落ち葉拾い、草むしり等を実施

<参加者>

2 日間で、のべ 35 機関・事業者、236 名

Peach Aviation(株)/(株)トヨタレンタリース福岡/株式会社 MIC ニコニコレンタカー福岡空港店
/スターフライヤー/ANA 福岡空港株式会社/株式会社花福堂/セイノー通関株式会社/西鉄空
港バスターミナル

/株式会社 JAL グランドサービス九州/株式会社にしけい/大成建設株式会社/一般社団法人
福岡県レンタカー協会/株式会社 ファビルス/国土交通省福岡空港事務所/株式会社西日本シ
ミズ/株式会社シンコー/日本航空 (株) / (株) JAL スカイ九州/スカイマーク株式会社福岡
空港支店/西日本鉄道 (株) 福岡空港営業所/株式会社梓設計/チョコレートショップ/株式会
社 JALUX エアポート/双日ロイヤルインフライトケイタリング株式会社/(一財)航空保安協
会福岡第一事務所/福岡エアーカーゴターミナル株式会社/監理 JV/福岡空港警察署/株式会
社 MIC ニコニコレンタカー福岡空港店/大成建設・旭工務店特定建設工事共同企業体/農林水
産省動物検疫所/株式会社ミカサ/シンガポール航空/羽田タートルサービス株式会社/スイス
ポート/FIAC



【熊本空港】 1

- ① 件 名：阿蘇くまもと空港「国際航空貨物上屋」開所式
- ② 地域振興等類型：（１）航空ネットワークの維持
（２）航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大
（４）空港と地域との交流促進
- ③ 実施主体：ディエスヴィ・エアーシー株式会社、熊本国際空港株式会社
- ④ 実施時期：2025年5月2日（金）
- ⑤ 取組内容：阿蘇くまもと空港の制限区域内に国際航空貨物上屋が竣工し5月2日、開所式がありました。開所式は貨物上屋の運営を担うDSV（日本法人：ディエスヴィ・エアーシー株式会社）が主催し、関係者による神事とテープカットが行われました。DSVはデンマークを拠点とする世界最大規模のフォワーダーです。熊本で、世界基準の輸送品質を反映させたサービスを提供いただきます。



【熊本空港】 2

- ① 件 名：「空の市」出張版
- ② 地域振興等類型：（２）航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大
（４）空港と地域との交流促進
- ③ 実施主体：株式会社ジェイエア（以下、J-AIR）
- ④ 実施時期：2025年5月17日（土）・5月18日（日）
- ⑤ 取組内容：通常は、伊丹空港で開催されている空港マルシェ「空の市」の出張版が熊本空港で開催されました。J-AIRの拠点である関西をはじめ、就航先の様々な商品販売を通じて、熊本県民にも興味・関心を持っていただき、旅行意欲を喚起するのに良い機会となりました。



【熊本空港】 3

- ① 件 名：「ねえ、熊本行ってみない?!」（熊本県観光PRイベント）
- ② 地域振興等類型：（１）航空ネットワークの維持
（２）航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大
- ③ 実施主体：熊本国際空港株式会社
- ④ 実施時期：2025年5月24日（土）・5月25日（日）
- ⑤ 取組内容：羽田空港第1旅客ターミナルビルにて、エアラインや熊本県と連携した利用促進イベントを実施しました。旅マエのお客様や、羽田空港に遊びに来ていた航空に興味のあるお客様に対して、熊本の魅力やエアラインによるキャンペーンのPRを行いました。



【熊本空港】 4

- ① 件 名：こどもスケッチ大会作品展示
- ② 地域振興等類型：（２）航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大
（４）空港と地域との交流促進
- ③ 実 施 主 体：熊本国際空港株式会社
- ④ 実 施 時 期：５月３０日～６月２７日
- ⑤ 取 組 内 容：阿蘇くまもと空港旅客ターミナルビル４階で「こどもスケッチ大会」の作品を展示しています。「こどもスケッチ大会」は今年４月１２、１３日に空港で行われ、６５作品の応募がありました。審査で選ばれた最優秀賞１点、金賞３点、入賞５点、佳作２点を含め、全作品を展示。「こんな飛行機あったらいいな」という思いを詰め込んだ、夢のある風景や空港の日常を巧みに切り取った描写など、子どもたちの感性が光るスケッチ作品をご覧ください。



【熊本空港】 5

- ① 件 名：第3回阿蘇くまもと空港早朝ランウェイマラソン
- ② 地域振興等類型：(1)航空ネットワークの維持
(2) 航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大
(4) 空港と地域との交流促進
- ③ 実 施 主 体：阿蘇くまもと空港ランウェイマラソン実行委員会
- ④ 実 施 時 期：2025年5月31日(土)
- ⑤ 取 組 内 容：今年も「熊本空港マラソン」を開催し、県内外から約700人のランナーが、早朝の滑走路や誘導路など10キロのコースを駆け抜けました。阿蘇くまもと空港に親しんでもらおうと企画し、今回が第3回(通算4回目)。スタート時間が午前4時50分という過酷な大会にも関わらず、エントリー枠は13分で定員に達しました。

天気は快晴で、午前5時半ごろには阿蘇の外輪山から朝日が昇りました。ランナーの皆さんは飛行機になりきったり、ポーズをきめて写真撮影をしたり、思い思いに滑走路でのランを楽しんでいました。ボランティアの「頑張れー!」「ファイト!」という声援も、大会を盛り上げてくれました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



